

「エコ・ハウスたかねざわ」学習プログラム		分野	自然と遊ぶ	プログラム No	自然 6
対象	低・中学年で可能	場所	野外及び室内	期間	晩秋
プログラム名		落ち葉のプールを作って遊ぼう！			
<p><プログラムの目的>(学習のねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然への理解を深める。(低・中学年) ○自然の美しさや面白さを発見する。(低・中学年) ○自然のリサイクルのあり方を体感する。(中・高学年) <p>みんなで落ち葉を集めてプールをいっぱいにしてください。カサカサと鳴る落ち葉の音。落ち葉の温かさ。落ち葉の中に潜ったり、落ち葉をかけあったり自由に遊びましょう。</p> <p>五感で自然を感じることによって、児童の感受性を高めます。子供たちが自然と自分が一体であることを気づくことを目的にしています。</p>					

【設計図】

品名	規格(寸法)	数量	単位
角材 (縦)	100×100 4,425.0	11	
角材 (横)	100×100 4,880.0	1	
角材 (縦)	100×100 3,230.0	4	
角材 (横)	100×100 4,850.0	4	
皆板 (1)	150 3,030	24	
皆板 (2)	150 1,645	18	

ハイテクパーク 落ち葉のプール 1:20
エコ・ハウス たかねざわ 2003.10.14 127

設計・設置上のポイント

- 落ち葉を集めやすい場所を選ぶ。
- 落ち葉の出し入れをしやすいように一部壁を低くする。
- 程好く日光が入る場所に作ろう！（日光が入りすぎると、乾燥してしまいます）
- 底部は、土のままで・・・



●楽しく遊ぼう！



もぐると楽しいね



落ち葉って思ったより軽いね。

●落ち葉のプールからの贈り物

・かぶと虫

落ち葉のプールで遊んだ後は、かぶと虫のベットになりました。



写真を撮るので、ちょっとだけ表に出てもらいました。

・腐葉土

落ち葉は自然の雨風にさらされて腐葉土になり、花壇や畑にまかれて、きれいな花やおいしい作物づくりを手助けします。自然のリサイクルです。



エコ・ハウスの腐葉土は近隣の方々にお分けしています。

落ち葉のプログラム

対象：低～中学年

提案：自然教室ネイチャーフレンド

自然教室ネイチャーフレンドは、子供たちを対象に、自然観察や創作、ときには元気に走り回るゲームなど、五感を使って自然を体一杯に感じながら『自然の不思議さや面白さ』を知るレンジヤースクールを開催しています。

事務局 宇都宮大学教育学部 陣内賢教室室内
<http://n-freind.soc.or.jp/>

●落ち葉集め

まず落ち葉を集めます、落ち葉が乾いていることを確認してください。

掃除が大変だと思われる場所では、ブルーシートを広げてその上に集めるとよいでしょう。熊手やかごなどがあると集めやすいです。石や小枝が混じらないよう注意しましょう。落ち葉が集まっていくだけで子供達は楽しくなっていきます。



●宝さがし

- ・落ち葉の中にもきれいなものや変わった形のものがあることを知ってもらう。
- ・落ち葉の山の中から、さまざまな変わった落ち葉を見つけさせる。

まずどのような落ち葉かを指示し、それを見つけさせる。次にそれらを集めて、一つずつ感想を述べる。どれが一番と言うよりは、子供達が見つけてきた落ち葉それぞれの特徴を説明してあげる。例)きれいな落ち葉、面白い落ち葉、赤い落ち葉、黄色い落ち葉、虫食い落ち葉など。



●落ち葉かけ

落ち葉を相手にかけるだけの遊びです。相手の服に入れたり、足で蹴り上げたりしないよう先に注意したほうが良いでしょう。単にかけるだけで面白いと思います。



●落ち葉のグラデーション

落ち葉の色が変わっていく過程を目でみながら感じてもらう。

落ち葉を色順に並べてグラデーションを作ります。まずその場所にある落ち葉をよくみて、一番端の色を決めます。たとえば、赤から黄色や、茶色から緑など。次に、みんなで落ち葉を集め、色が少しずつ変わりながら反対側の色になっていくように作っていきます。

紐にぶら下げて見たり、台紙に貼ってみたりするとわかりやすいと思います。また、直線だけでなく、平面でやってみても面白いと思います（画用紙一枚を使い、右から左、あるいは右上から左下に向かって色が変わっていくようにするなど。）

●重さを見切れ！

落ち葉の重さを推理することで、見た目との違いや、なぜ落ち葉は軽いのかを考える。はかりを用意し、いろいろなものと落ち葉の重さを比べてみる。適当な重さのものを置いてみて子供達にこれがどのくらいの落ち葉に相当するか考えさせ、自分が思うだけの落ちばを掴んで（抱えて）もらう（あるいはこの時点で袋に入れてもらう）。次にそれを袋に入れて一人ずつはかりにおいていき、誰がっていたか比べる。逆に落ち葉を先においておき、それがどのくらいかいくつかの物（石、本など）から重さを当てさせる。



●大地の窓

落ち葉の山の中にすっぽりうまってもらう。顔だけ出して頭も埋まる。下からどのように見えるか（空が見える、人が見えない）、その眺めをどう感じるか（虫になったみたい）、暖かい（別に暖かくない）、などいろいろ質問してみる。



●ステ落ち葉のステンドグラス

落ち葉を一枚一枚水にぬらして外からガラスに張りつける。中から見ると光が透けてきれいに見える。南向きの窓がよい。

